



つがいのコウノトリ お散歩中(八田区)

えちぜん議会だより

Vol.60 2020.5.1



満開の桜(陶の谷駅跡)

主な内容

- 3月定例会報告 2p～ 3p
- 提出議案等 4p
- 一般質問 5p～ 10p
- 現場踏査 11p
- 活動報告等 12p～ 13p
- 出欠状況・自治功労賞受賞 14p
- 行事あれこれ 15p
- がんばってます!・編集後記 16p



越前町 人と技 海土里 織りなす快適なまち

3月定例会

会期 3月4日～16日

令和元年度 補正予算

専決処分の承認

集落排水		一般会計		会計
承認第 2 号	承認第 3 号	承認第 1 号	議案番号	
200 万円	3,309 万円	1,740 万円	金額	
1 月の暴風波浪による、 越前北部処理場施設・南 部処理場フェンス等の修 繕費用	ふるさと納税寄附金の増 額に伴う返礼品代等の委 託費用	1 月の暴風波浪による、 漁港施設、道路、河川の 修繕費用	主 な 内 容	

地域公共交通活性化事業

（負担金補助及び交付金） 1,151万8千円
路線バス運行事業者に対する国県補助金の減額やバス運行に係る経費の増加により、生活交通路線の運行維持に要する補助金を計上。

中山間営農継続支援事業

（負担金補助及び交付金） 360万5千円
中山間地域における、農業者の高齢化による耕作放棄地の発生などの問題に対処するため、「越前町地域農業サポートセンター」を開設し、地域の農業生産維持と活性化を推進する。

農村地域防災減災事業

（委託料） 1,490万円
特定農業用ため池（防災重点ため池）について、ハザードマップを整備・活用することにより、災害発生時に迅速・的確な避難を行うとともに、日頃の防災意識の向上を図る。

越前町森林環境譲与税金積立金事業

（積立金） 1,674万円
町が行う公的管理として森林整備や、所有者の意向調査・境界画定、人材育成・担い手の確保のほか、新規町単独事業に必要な財源として森林環境譲与税を充当し、基金を積立てる。

観光施設管理運営事業

（工事請負費 他） 7,480万3千円
指定管理者制度による、悠久ロマンの杜など6施設の管理運営委託と、町内観光施設の適正な維持管理を行う。

観光施設管理運営事業

（負担金補助及び交付金） 415万5千円

旧花の茶屋の跡地について、地権者へ返還するため水田に復旧する工事が完了したため、負担金を計上。



旧花の茶屋跡地

体育施設改修事業

（工事請負費 他） 2,160万円
糸生体育館の非構造部材耐震点検の結果、落下の危険が確認されたことから、利用者の安全性を図るため、対策工事費等を計上。

条例

越前町国民健康保険税条例の一部改正について

医療給付費の増加や加入者の減少に伴う税収の減により、国民健康保険財政が逼迫（ひっ迫）しており、保険税を改正し事業の財政健全化を図るため、条例の一部を改正した。

令和2年度 当初予算

公共施設個別施設計画策定事業

（委託料） 1,895万円
自治体が管理する公共施設の老朽化対策などを計画的に進めるため、維持管理・更新等の中長期的な取組の方向性を示す「個別施設計画（長寿命化計画）」を策定する。

交通安全対策一般事業

（負担金補助及び交付金 他） 1,356万1千円
高齢運転者が車のペダルを踏み間違える事故が多発していることから、高齢者や歩行者などの交通弱者を交通事故から守るため、「ペダル踏み間違え安全装置」の設置費用の一部を補助する。

防災行政無線整備事業

（工事請負費 他） 3億5,921万6千円
災害時の緊急情報周知を強化するため、老朽化が進んだ越前地区の防災行政無線設備を更新する。

小学校改修事業

（工事請負費 他） 4,383万9千円
老朽化した学校施設について、屋根の塗装をするなどの改修を行い、児童が安心して学校生活を送ることができる環境を整備する。



南団地

中学校教育振興一般事業

（報酬 他） 4,211万4千円
各中学校に、講師や支援員、部活動指導員を配置し、生徒へのきめ細かな支援や授業展開、教職員の業務改善に取り組む。

文化歴史館（展示ケース設置工事）事業

（工事請負費） 1,056万円
国指定重要文化財など貴重品のなかには、低い展示ケースでは収納できない資料があるため、高い展示ケースを企画展示室に設置する。



文化歴史館内展示ケース

保育士等お仕事サポート事業

（負担金補助及び交付金） 572万8千円
保育補助者や保育に関する周辺業務を担う人材の雇上げをする私立保育園等に対し補助する。

医療機器等整備事業

（器械備品購入費 他） 3,876万円
織田病院内の経年により老朽化している医療機器の更新と給食調理室の空調設備の入替えを行う。

有害鳥獣対策事業

（負担金補助及び交付金 他） 3,355万7千円
イノシシ・ニホンシカ等の鳥獣による農作物への被害が増加しているため、被害対策に効果的なネット柵・電気柵などを設置する経費に対し補助する。



電気柵

文化歴史館（企画展覧会）事業

（委託料 他） 306万5千円
発掘調査を行った「番城谷山古墳群」の調査結果に基づき、古墳をテーマとした企画展覧会を開催する。

人事

次の方々の任命・選任について、全会一致で同意した。

教育委員会教育長

久保 理恵子氏（櫻津 再任）

教育委員会委員	春木 誠一	内郡 再任
---------	-------	-------

政治倫理審査会委員

松村 仁	廣野 新任
馬谷 友江	中野 再任
向當 一郎	江波 再任
藤井 賢一	頭谷 再任
濱野治代子	小樟 再任
河上 重春	三崎 新任
孝久 忠央	西田中 再任
橋詰 盛雄	小曾原 再任
小酒 春樹	高佐 再任
菅原 秀雄	織田 再任

固定資産評価審査委員会委員

菅原 秀雄	織田 再任
-------	-------

（敬称略）

< 3 月定例会に提出された議案等 >

議案番号	件 名	議決の結果
承認 第 1 号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度越前町一般会計補正予算（第 8 号））	全会一致可決
承認 第 2 号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度越前町集落排水事業特別会計補正予算（第 5 号））	〃
承認 第 3 号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度越前町一般会計補正予算（第 9 号））	〃
議案 第 1 号	越前町附属機関設置条例の制定について	〃
議案 第 2 号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	〃
議案 第 3 号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	〃
議案 第 4 号	越前町国民健康保険税条例の一部改正について	〃
議案 第 5 号	越前町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案 第 6 号	越前町漁港管理条例の一部改正について	〃
議案 第 7 号	越知山大谷寺青少年旅行村条例の廃止について	〃
議案 第 8 号	越前町新町建設計画の変更について	〃
議案 第 9 号	鯖江・丹生消防組合規約の一部変更について	〃
議案 第 10 号	令和元年度越前町一般会計補正予算（第 10 号）	〃
議案 第 11 号	令和元年度越前町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	〃
議案 第 12 号	令和元年度越前町介護保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	〃
議案 第 13 号	令和元年度越前町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 1 号）	〃
議案 第 14 号	令和元年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算（第 4 号）	〃
議案 第 15 号	令和元年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）	〃
議案 第 16 号	令和元年度越前町集落排水事業特別会計補正予算（第 6 号）	〃
議案 第 17 号	令和元年度越前町温泉事業特別会計補正予算（第 3 号）	〃
議案 第 18 号	令和元年度越前町土地区画整理事業特別会計補正予算（第 1 号）	〃
議案 第 19 号	令和元年度越前町上水道事業会計補正予算（第 4 号）	〃
議案 第 20 号	令和 2 年度越前町一般会計予算	〃
議案 第 21 号	令和 2 年度越前町国民健康保険事業特別会計予算	〃
議案 第 22 号	令和 2 年度越前町介護保険事業特別会計予算	〃
議案 第 23 号	令和 2 年度越前町後期高齢者医療事業特別会計予算	〃
議案 第 24 号	令和 2 年度越前町簡易水道事業特別会計予算	〃
議案 第 25 号	令和 2 年度越前町公共下水道事業特別会計予算	〃
議案 第 26 号	令和 2 年度越前町集落排水事業特別会計予算	〃
議案 第 27 号	令和 2 年度越前町温泉事業特別会計予算	多 数 可 決
議案 第 28 号	令和 2 年度越前町農林漁業体験実習館事業特別会計予算	全会一致可決
議案 第 29 号	令和 2 年度越前町土地区画整理事業特別会計予算	〃
議案 第 30 号	令和 2 年度越前町上水道事業会計予算	〃
議案 第 31 号	令和 2 年度越前町国民健康保険病院事業会計予算	〃
同意 第 1 号	越前町教育委員会教育長の任命について	〃
同意 第 2 号	越前町教育委員会委員の任命について	〃
同意 第 3 号	越前町政治倫理審査会委員の任命について	〃
同意 第 4 号	越前町政治倫理審査会委員の任命について	〃
同意 第 5 号	越前町政治倫理審査会委員の任命について	〃
同意 第 6 号	越前町政治倫理審査会委員の任命について	〃
同意 第 7 号	越前町政治倫理審査会委員の任命について	〃
同意 第 8 号	越前町政治倫理審査会委員の任命について	〃
同意 第 9 号	越前町固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃
同意 第 10 号	越前町固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃
同意 第 11 号	越前町固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃
同意 第 12 号	越前町固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃

いっばん質問

高田 浩樹 議員

高齢者福祉と地域づくり

高田

高齢者の生きがいや健康づくりの施策等の現状は。

民生理事

本町では、高齢者が地域へ出る、参加する、交流する、支え合うことを目標に、つるかめ体操、フレイル予防（加齢による心身の衰えを予防）サポーターの養成およびフレイルチェック教室などを実施。男性の参加者が少ないことから、男女ともに参加しやすい環境整備を推進している。

高田

高齢者単身世帯、夫婦世帯が、安心して在宅で自立した生活を続けるための対策は。

民生理事

高齢者単身世帯や夫婦世帯が安心して在宅で生活を続けるための支援事業にあたっては、地域の方々と各団体の協力が不可欠であることから、平成 30 年度より合同研修会を開催。それとともに、地域でのネットワークや仕組みづくりを多様な方向から検討していきたい。

子育て支援の充実について

高田

「第 1 期子ども・子育て支援事業計画」は、令和元年度で終了となり、令和 2 年度からは第 2 期計画に移行となるが、今後も引き継がれる「気軽に相談できる体制の強化」についての展開は。

民生理事

平成 30 年 4 月に設置した子育て世代包括支援センターでは、保健師等の専門スタッフが妊娠、出産、子育てに関する様々な相談に応じている。

また、子育て支援センター事業の中での離乳食教室、保健師の保育所訪問、カウンセラーによる発達相談など、他の関係機関との連携を図っている。

令和元年度からは、従来の健診に加え、5 歳児健診を実施。就学前の大事な時期に心身の発達の様子を確認し、学校教育や児童福祉部門と連携して、保護者の抱える悩みに対応。

今後とも、子育て世代の相談に対応できるよう、あらゆる機会を捉えていくとともに、各団体等との連携やネットワークづくりを進めていきたい。

高田

子ども・子育て支援の展望について、町長の所見は。

町長

本町だからこそできる子ども・子育て支援として、役場内の関係各課や教育・保育施設、町内の各種団体や地域の方々との連携、協働を図り、町全体で子どもや子育て家庭に寄り添いながら、顔の見える支援を行っていく。

歴史・文化資源を活かしたまちづくり

高田

本町の歴史・文化資源に関する町民の皆様の意識の醸成および伝承等の課題と対策は。

教育委員会事務局長

大きな課題としては、伝統芸能の伝承者減少や、歴史文化を保存継承する団体の継続などがある。対策としては、歴史・文化資源の保護や継承のため、調査研究やその成果の展示および刊行、講演会などを通じて、住民の保護意識の啓発に努めている。

また、伝統芸能の保護と継承を図るための保存会への活動助成、本町の歴史・文化資源に関して積極的に活動を行っている団体など

に、活動成果の公表の場の提供、写真展や講演会開催等の支援を行っている。

高田

日本遺産や歴史文化基本構想などの制度等の活用についての見解は。

教育委員会事務局長

近年、国は、歴史文化資源の保存や有効活用等を目的とした日本遺産や歴史文化基本構想などの制度を打ち出している。

今後、このような制度等の有効活用により、町民の保護意識の啓発推進、歴史・文化を守りつないでいく団体などの活動支援の方策を検討していく。

高田

歴史・文化資源を活かしたまちづくりの展望は。

町長

本町では、今後も歴史・文化資源に関する事業の一層の充実、また、国や県の動向を注視し、新たに打ち出される制度や施策の有効活用を検討していきたい。

住民と行政とが一体となって歴史文化資源を次世代へと継承していくとともに、それらを活かした新たな時代にふさわしいまちづくりを行っていく。



藤野 菊信 議員

いっばん 質問

一般質問とは

議員が行財政全般にわたって町に疑問点をだし、所信の表明を求めるもの



伊部 良美 議員

1月8日の高波災害の対応策について

伊部

今年1月8日の夜半にかけ、今までにない異常な高波が越前地区海岸沿いに襲いかかり、町内に被害をもたらしたが、今後もこのような事態が考えられる。

米ノ地係のかれい崎莊跡地周辺では、高波が道路を洗つようにかぶさった。令和元年にテトラポット2000個、また令和2年にも対策が取組まれると思うが、町としても、安心・安全な道路を獲得するため、積極的に働き掛けるつもりはないか。

建設理事

国の平成30年度2次補正予算から事業化された、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策により、現在、護岸改良工事を実施しており、2年度予算にて消波ブロックの据付けを行う。

伊部

米ノ地区かれい公園の越波対策について伺う。

産業理事

波返し工や消波工など越波対策が施されているが、今回の高波による被害は、新たなケースであり、今後考慮していかなければならない。消波ブロックなどの増強は費用負担が過分なものになるので、地元町民と協議した上で進めていく。

伊部

白浜地区の越波対策について伺う。

産業理事

離岸堤の開口部やブロックの飛散部分を補強し、大型離岸堤に改良した。今後、離岸堤の改良計画に基づき、地元や専門家の意見を含め十分協議し、対策を講じていきたい。

伊部

梅浦漁港の整備の遅れと周辺道路の高波の越波対策について、米ノ地域が終わり次第、漁業者と十分協議し、町として対策を前向きに進めるべきでは。

産業理事

梅浦漁港の整備について県越前漁港事務所からの回答では、平成22年に計画変更の届出を水産庁に提出し、現在、梅浦地区の大規模な防波堤等の改良は計画にないとのこと

あった。

しかし、今回の高波で被害を受けていることから、今後の経過観察と検証により、県当局と協議をしながら進めたい。

建設理事

丹南土木事務所などで越波調査を行い、越波を抑止するための構造物の工法検討や周辺環境への影響など検証しているが、現時点では計画が具体化されておらず、地元や漁業者と協議までには至っていない。今後県当局と協力し、越波対策の早期着手を推進していきたい。

伊部

玉川漁港の防波堤が破壊された原因はなにか。この場所だけ、二度も三度も被害に遭うのか。当時の設計書があれば、原因を検証すべきでは。

産業理事

当日は、台風並みに発達した低気圧が日本海に居座り、その低気圧の移動に伴い大波が真西方向から押し寄せたのが原因と考えられる。前回の災害時の設計書が残っているが、設計内容は冬季波浪を防ぐものとなっているため、真西からの波に耐えられなかったものと考えられる。

ドッグ場(越前漁港)の建設計画について

伊部

県の水産課と越前町漁協組合と、ドッグ場(越前漁港)建設の計画について意見の相違もあったが、水産庁の働きもあり、国庫補助事業で今年度予算の事業に取組まれた。今後の建設計画を伺う。

町長

漁業者念願の漁船上架施設の土台となる船揚げ場と斜路の整備が県越前漁港事務所において、令和2年度から施工される。

本町としても、県への重要要望事項や町漁船上架施設整備検討委員会などで、協議を重ねてきた。設備設計においても8割方進捗しており、年度内には完了するものと伺っている。設備整備については、町漁協が事業主体となり、令和3年度に施工する計画となっている。町としては、国や県の補助金を十分に活用して支援を行い、越前がにの安定供給に寄与できるよう努力したい。

また、今年の4月から県越前漁港事務所が越前地区に移転するので、今後の漁業基盤の更なる強化や、漁業の町としてのますますの発展を期待する。

越前町の空き家対策について

空き家の現状と今後の対策は

藤野

「空き家対策」は本町をはじめ全国的に問題となっており、令和元年度で本町の空き家は773件ある。そのうち「A判定(そのまま使用できる)」の空き家391件の物件については、空き家情報バンクへの登録を、また「B、C、D判定(修繕が必要老朽化)」の空き家382件の物件については、ハクビシンなどの小動物を入り込ませないなど、所有者の管理徹底が必要と考える。

今後さらに、人口減少・高齢化が進み、空き家が増えると考えられるが、町長の所見は。

町長

本町の空き家は5年前より34件増えており、空き家対策を推進していくうえで、早い段階での対策が重要な視点となる。

現在、空き家無料相談会を年2回開催し、相談員には建築士、司法書士などの専門家が、空き家所有者に適切な助言や指導を行い、併せて空き家情報バンクの登録もお願いしている。

本町の窓口では、最近、空き家

の相談に来る方が多くなってきたおり、適正な維持管理や空き家対策補助制度の説明などを行っている。

本町では、条例で地域ぐるみで空き家の実態把握や情報共有の体制づくりに取組むと定めている。所有者、活動団体、地域住民、事業者及び町がそれぞれの責務や役割を理解し、相互に協力しながら、空き家の発生予防や適正な管理に取り組んでいくためにも、空き家情報の共有体制の整備強化は必要である。地域ぐるみで空き家にしない、させない、放置しないよう、迅速な情報の共有化に努めてまいりたい。

そして、予防、利活用、適正管理などの初期対策に重点を置き、総合的な空き家対策を推進することとで空き家の増加を抑え、地域の安全安心で快適な生活環境を保全し、活力低下につながる魅力ある地域社会の実現を目指していく。



空き家無料相談会

越前町のホームページについて

ホームページに、テレビ番組の取り入れを

藤野

本町のホームページで、町の紹介や行政情報の提供、特に観光については、越前町観光連盟のホームページにつながる「えちぜん観光ナビ」のバナーをトップページに設け、越前町観光プロモーション動画を公開し、四季折々の観光資源の魅力や旬な情報など、異なるコンテンツを豊富に発信している。

そこでホームページに、最近民放などで放送された本町を題材としたテレビ番組を取り入れてはどうか。

町長

テレビ番組は、その番組を制作した各テレビ局や制作会社が著作権を持っており、さらにその中には原作者や作詞家、俳優など様々な関係の権利者がいるため、複写権などの許諾を得る必要があるが、今回は事前に、制作会社から使用については遠慮頂きたいとの案内があった。

しかしながら、本町が各テレビ局に取り上げられ、全国的に紹介されることは知名度アップにも繋がるとして、観光連盟のホームページ

情報発信に工夫を

藤野

本町の観光施設についての情報発信には、キャッチコピーや紹介の仕方に関する様々な方法が考えられるが、町長の所見は。

町長

観光客に対する訴求力を高めるためには、魅力のある情報を広く発信していく必要があり、越前町に行こうと考えた際の旅前や現地に来てからの旅中に必要な観光情報の充実、観光戦略の1つとして、大変重要な施策だと思っている。

また、スマートフォンの登場により、いつでもどこでも必要な情報が閲覧できるようになったことから、SNSを活用した観光情報の発信に取組みたい。また越前町観光連盟と連携しながら、訪れる観光客からキャッチコピー募集や斬新でインパクトのある観光施設の紹介を取り入れていきたい。



南 ゆかり 議員



木村 繁 議員

いっばん 質問

「食品ロス」削減について

「食品ロス」削減に向けた取組みは

食品ロスとは
全世界で生産された食品の3分の1の約13億トンが廃棄されており、この廃棄される食糧を「食品ロス」といい、世界的に大きな問題となっている。

木村

国は昨年10月「食品ロス」削減を目的とした「食品ロス削減推進法」を施行し、生産から消費までの各段階の食品ロス削減に向けた努力を国民運動と位置づけ、国や自治体、事業者、消費者に対して自主的な取組を求めた。本町においての具体的な取組みや推進計画の策定は。

町長

県は国に先駆けて、平成18年から生ごみの削減を目的に「おいしいふくい食べきり運動」を展開し、この運動は食品ロス問題が世界的な広がりを見せるなか、全国的に広がり、平成28年「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」が設立され、本町も含め県内全ての市町が加入している。

文化財について

文化財の防災体制は

木村

文化財は、地域振興や観光振興などを通じ地域活性化に貢献しているが、国は平成30年「文化財保護法」を改正し、都道府県においては文化財の保存活用に関する大綱を、市町村においては「文化財保存活用地域計画」を策定し、防災の観点重視したうえで、地域社会全体で文化財を継承していく体制づくりを促している。

本町には国・県・町を合わせた130の指定文化財があるが、地域計画での消火設備の設置を含めた防火対策や地震対策について、教育長の所見を伺う。

教育長

県では今年度中に、文化財保存活用に関する大綱が策定される。それを踏まえ、非常時の防災体制も含めた地域計画の策定を検討していく。更に県では「文化財防災ハザードマップ」も数年かけて作成する予定で、その際には県と協働して、町指定文化財も含めたマップの作成を進めていく。

織田文化歴史館の入館者数増加の要因は

木村

織田文化歴史館の入館者数が

年々増加傾向にあるが、その要因は何か。

教育長

剣神社から国宝梵鐘の寄託を受けたことにより、平成27年度は約6,100人、それ以降年々増加し、平成30年度には1万人に近づいている。

これは、越前の古代信仰を題材とした企画展覧会の開催や町観光連盟が実施している「剣神社への団体誘客事業」、また昨年5月に、町の歴史や調査研究について学べる公式ホームページ「デジタル博物館」を開設したことによるものと考ええる。

織田文化歴史館の機能更新・再整備は

木村

本館の機能更新を含めた再整備については、どのように考えているのか。

教育長

平成28年度に企画展示室にあった復元住居を解体して展示スペースを広く確保し、企画展の充実を図った。来年度は、古墳に関連した企画展の開催を計画している。展示のための大型ハイケースを整備する。

手話言語条例制定にむけての取組みについて

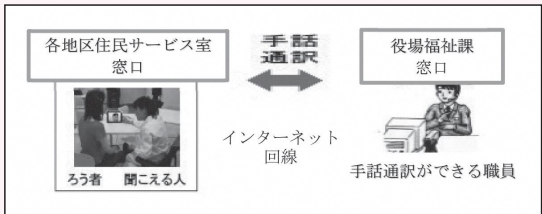
手話言語条例制定について問う

南

ろう者と健常者の共生社会を実現するために必要な「手話言語条例の制定」に取組む予定はないのか。

町長

本町では既に、役場福祉課窓口と各地区住民サービス室窓口にタブレット端末を設置している。また、手話奉仕員養成講座を実施しており、婦人会や小学校などで、手話の出前講座にも取組んでいる。手話言語条例の制定に向け、ろう者や聴覚障害者に対する理解を深めるため、研修会や近隣市町の条例の勉強会を行い、越前町聴覚障害者協会などの様々な方の意見を聞きながら取組みたい。



手話言語条例制定はいつ頃か

南

すでに本町では、意思疎通円滑化の取組みが進んでいる。手話言語条例は、具体的にいつ頃を目標に制定する計画なのか。

町長

勉強会や様々な方と十分な話し合いを行い、条例制定の準備が整った時点で、なるべく早く議会に提案できるよう進めていきたい。

当事者が主体となって条例を

南

他の障がいを持つ方に、ろう者や聴覚障害者を理解してもらええるような機会を作ってほしい。他市町の条例を参考に、専門家に制定プロセスのアドバイスを受け、当事者が主体となり、思いを組んだ条例をつくれるようにしてほしい。



議場内で手話通訳

交通デザインの進捗状況について

進捗状況について問う

南

人とのつながりを生むカフェやサロンをバス停にして、人気の目的地をつくるなど、公共交通の利用者が増える工夫を、観光と福祉の視点で発想してはどうか。

町長

平成30年に、町職員で構成するプロジェクトチームを発足させ、交通デザインの検討や町民に公共交通に関するアンケート調査を行った。結果から求めるニーズは、①通勤や通学するための移動、②ショッピング施設への移動、③病院への移動手段の確保であった。コミュニティバスの満足度については、約4割の方が不満を抱えていた。

また、中高生のアンケート調査では、①買い物不便、②バスが不便、③娯楽や余暇を過ごす場所が少ない等であった。調査を整理し実証実験をしようとしたが、令和2年4月、国土交通省の法改正

アイデアをどのようにもらうのか

南

例えば、富山大学の都市交通デザイン科など、専門的に勉強をしている人や取組みが成功した自治体に、指導を受けてみては。

町長

先進地の事例を始め、多くの関係者に知恵をもらい、町独自の交通デザインをつくりたい。

町独自の交通デザインを

南

高齢になり免許を返納した方、学生、旅行者等、交通弱者の声を聞き、思い切った本町独自の交通デザインを実現してほしい。



越前町役場本庁舎建設工事

平成30年度から3か年継続事業で実施し、最終年度となる令和2年度は、主に本庁舎整備工事費をはじめ、外構工事費、旧庁舎解体工事費用を計上

- ・鉄骨造
- ・3階建（一部4階建）
- ・延床面積5,751.99㎡



天神橋架け替え工事（気比庄）

社会資本整備総合交付金を受け、道路構造物の長寿命化を図るため、天神橋架け替え工事にかかる委託料を計上

- ・橋長53.4m



玉川温泉地老朽宿泊施設解体工事

玉川温泉を存続するため、近隣で温泉が自噴している旧玉川ビューホテルの土地、建物、温泉権利を取得し、建物解体後、貯湯槽やポンプなどの施設整備を計画しており、解体工事費を計上

- ・解体施設 旧玉川ビューホテル
- ・構造 鉄筋コンクリート造
- ・陸屋根6階建
- ・延床面積 3,479.98㎡



宮崎中学校屋外運動場改修工事

屋外運動場の表土から基礎砕石が浮いて危険な状態であるため、表土を入替する工事費を計上

- ・整地面積3,000㎡

いっばん質問

笠原 秀樹 議員



志津・朝日線の要望活動経緯と今後は

笠原

町道「志津朝日線」については、平成4年に「志津・朝日線道路整備促進期成同盟会」を設立し、県道昇格と地域の更なる活性化を図る道路として、本町栃川地区から福井市山内地区に通じるトンネル工事の要望活動を続けてきた。その後、平成27年に目的を同じくする「越前・越前間県道昇格推進期成同盟会」との統合を図り、新たに「越前町・福井市間県道昇格推進期成同盟会」を設立し、現在も要望活動を続けているが、全く進んでいない。実現に向けての、今後の取り組みは。

町長

本路線の福井市側においては、ふくい健康の森や志津が丘団地の造成に合わせて、市道8号線を起点として山内町までの3.5kmと、本町側においては、町道中央線の佐々生地係を起点として栃川区までの4.5kmの道路が整備済みとなっている。山内町と栃川区の市町境においては、険しい山林が立ちほだかり、この間約1km

が未整備となっている。この区間においては、トンネルの整備が必然であり、相当の費用を要することから、県道昇格の実現とその後の道路整備については県に委ね、県当局と協議を進めることにした。

未だ県道昇格は実現せず、道路整備が一向に進まないことは紛れもない事実である。この背景には、本町の住民生活はもとより、産業や観光の振興に欠かせない基幹道路となる国県道の改良整備の立ち遅れが1つの要因であると考えている。国県道の未改良区間の整備については、今後とも引き続き国県に對し要望していきたいと考えており、このような背景で整備が進まなかったことを理解してほしい。

しかし、背後に険しい山林を背負っている栃川区は、豪雨や長雨の際には斜面の崩壊や土石流の発生



連携中核都市圏の形成に関わる道路整備は

笠原

福井市と本町を含む10市町がそれぞれ「連携中核都市圏の形成に関わる連携協約」を昨年4月に締結し、地域住民が安心して快適な暮らしを営むことができる圏域を形成するとしている。本町は福井市に隣接し、特に志津地区は旧清水町で丹生郡として圏域を形成してきた間柄であり、この路線が開通すれば本町との交流道路として、観光はもちろん北陸自動車道や国道8号へのアクセス道路として、利用価値の高い路線になると思うが、町長の考えは。

町長

本路線は、生活道路としての機能だけではなく、経済・文化の交流はもとより観光・産業の発展、また北陸自動車道や国道8号へのアクセス道路として、重要な役割を果たす道路であることから、第2、第3の幹線道路として県道昇格、道路の改良整備に向け福井市と一体となって、この大きな課題に取り組みしていきたい。

笠原

近隣市町との連携、交流、物流、観光、緊急時の避難、物資の輸送など、鉄道のない本町にとっては、道路整備は必要である。本路線は、基幹道路ではないので「我慢しなさい」では、公平・公正な町政ではなくなる。25年もの間手付かずのままでは、地元町民も納得できないだろう。少子高齢化・空き家問題など、明るい話題がないなか、令和4年天神橋の架け替え工事が完成する頃には、路線開通の希望が持てる答えが出てくることを強く望む。

株式会社福井村田製作所 宮崎工場訪問

令和2年1月、株式会社 福井村田製作所宮崎工場（小曾原）を訪問し、会社概要の説明を受けた後、工場内を見学した。また、町政への要望等を伺った。



福井村田製作所は、1951年に村田製作所福井工場として創業。越前打刃物や越前焼など、古くからのづくりが息づく越前市と越前町に拠点を置き、規模を拡大してきた。

現在、ムラタグループの主力製品である積層セラミックコンデンサとその要素技術が応用展開されたノイズ対策製品づくりを担い、マーケティングから製品開発、量産までを一貫して行っている。

伝統あるものづくりの地で、最先端の製品づくりに挑む

1951年	1955年	1980年	2015年
福井県立窯業試験場内（越前町小曾原）に村田研究所を開設	（株）福井村田製作所として分離独立	越前町小曾原に宮崎工場を建設	宮崎工場に新厚生棟建設

福井村田製作所のあゆみ

- 環境美化活動
- 電子工作教室
- 科学環境学習
- 「未来の森」保全活動

創業以降、地元・福井の方々の支援を受けて、半世紀以上の歴史を重ねてきた。製品の提供を通じて社会に貢献するとともに、恩返しを大切な企業活動の一貫と考えて、様々な活動を実践している。

地域の喜びと誇りになるように

ムラタグループは国内関係会社30社、海外関係会社69社の関連企業を展開している。その中で、福井村田製作所は最初に設立された事業拠点であり、新商品・新技術の「開発拠点」として位置づけられている。いわばムラタグループの「マザーファクトリー」として新製品・新技術を創出する役割を担っている。

福井から世界へ

町政への要望について

- ◎除雪に関しては
 - ・主要道路の除雪体制の改善
 - ・通勤ラッシュ時間帯に、除雪車があると渋滞する

- ◎道路環境に関しては
 - ・街灯の明かりが暗い
 - ・守衛室右折後、第一カーブの「スピード注意」看板の修復
 - ・工場入口交差点のカーブミラーが小さく、走行車が見えにくい



福井村田製作所宮崎工場内

原子力発電安全対策特別委員会

原子力災害が発生したとき「町民の避難はどう行うのか」など、福井県や越前町が策定している避難計画について、令和2年2月に事務調査を行った。

また、原子力施設で災害が発生し、広域避難となれば、県や避難先の市町との連携も重要になることから、県の原子力防災対策について必要な知識を深めた。



福井県における原子力防災対策

◎福井県広域避難計画要綱

原子力災害対策重点区域の住民の避難が、迅速かつ円滑に行われるよう、広域避難先、避難ルート、輸送手段、防護措置等を定めている。

◎原子力災害対策重点区域

PAZ区域	原子力発電所から概ね5km
UPZ区域	原子力発電所から概ね5～30km

福井県原子力総合防災訓練

令和元年8月30日（金）・31日（土）に、関西電力（株）美浜発電所3号機で災害が発生したという想定で、県、市町、消防、内閣府など合計8,988人が参加し、初動対応・情報伝達訓練、広域避難訓練を行った。越前町では、広域避難訓練および屋内退避訓練を実施した。



避難先施設受入れ訓練

スクリーニング（避難退域時検査）

放射性物質が放出された後、避難者などの汚染状況を確認する検査。基準値を超える放射線物質が確認された場合は、簡易除染を実施。



スクリーニング

越前町原子力災害時避難計画

◎趣旨

越前町地域防災計画に基づき、原子力事業所から30km圏外への広域避難が迅速かつ円滑に行われるよう、避難先等を定めている。

◎広域避難先

越前町の県内避難先は「坂井市」◎避難の実施単位と避難ルート
小学校区を避難の実施単位としており、広域避難ルートは、各小学校区から国・県道等の幹線道路を基本に定めている。

最後に

今後、県が実施する訓練のほか町独自の訓練も実施したい。原子力災害は発生してはならないが、万が一に備え、町民に災害情報を適確に伝え、スムーズに避難できるよう努めたい。



防護マスク



防護服

令和2年 行事あれこれ



1月12日①

成人式

越前陶芸村文化交流会館



◎新成人の皆さん



議長祝辞

1月12日①

越前消防団出初式

アクティブランド体育館
及びくりや漁港一帯



一斉放水



分列行進

2月23日①

第13回ぬくもりコンサート

宮崎コミュニティセンター



童謡わらべ



cherry×cherry

3月22日①

宮崎地区第4分団 ポンプ車入魂式

鯖江・丹生消防組合丹生分署



式典



玉串奉奠

3月28日①

織田地区第3分団 消防施設落成式・ ポンプ車入魂式

織田地区大王丸及び丹生分署



放水披露



式典

議会・委員会・一部事務組合等議員出欠状況

(12月14日～3月16日)

○…出席 ×…欠席()は欠席の理由 △…遅刻・早退

月日	曜日	諸 会 合 名	青柳 議長	米沢 副議長	高田 議員	南 議員	藤野 議員	田中 議員	佐々木 議員	齋藤 議員	伊部 議員	笠原 議員	木村 議員	北島 議員	吉村 議員
12	23	月 鯖江・丹生消防組合議会臨時会	—	—	—	—	—	○	○	—	○	○	—	—	—
1	6	月 議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	火 議会広報特別委員会	—	—	○	○	—	—	—	○	○	—	○	○	○
	16	木 議会運営委員会	○	—	—	○	○	—	○	—	○	○	○	—	—
	20	月 議会広報特別委員会	—	—	○	○	—	—	—	○	○	—	○	○	○
	22	水 議会活性化小委員会	○	○	○	—	○	—	○	—	—	○	—	—	○
30	木	福井村田製作所宮崎工場訪問	○	○	—	—	○	—	—	—	—	○	○	—	○
2	3	月 議員月例会	○	○	○	○	○	△(病欠)	○	○	○	○	△(葬儀)	○	○
	6	木 議会活性化委員会	○	△(葬儀)	○	○	○	△(病欠)	○	○	△(葬儀)	○	○	○	○
		公立丹南病院組合議会定例会	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	○	—	○
	7	金 鯖江広域衛生施設組合議会定例会	—	—	—	—	○	—	—	○	—	○	—	○	—
	10	月 産業土木常任委員会	○	○	—	—	○	○	—	—	○	—	—	○	○
	13	木 鯖江・丹生消防組合議会定例会	—	—	—	—	—	○	○	—	○	○	—	—	—
	14	金 県丹南広域組合議会定例会	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—
	17	月 県後期高齢者医療広域連合議会臨時会	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	18	火 原子力発電安全対策特別委員会	○	△(病欠)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	21	金 議会運営委員会	○	—	—	○	○	—	○	—	○	○	○	—	—
3	2	月 議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4	水 3月定例会 本会議(1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5	木 3月定例会 本会議(2日目)	○	○	○	○	○	△(病欠)	○	○	○	○	○	○	○
		3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
	6	金 3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		3月定例会 本会議(3日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9	月 3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	△
	10	火 3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
	11	水 3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	木 3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	金	3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	月	3月定例会 本会議(4日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議会広報特別委員会	—	—	○	○	—	—	—	○	○	—	○	○	○



3月定例会終了後、全国町村議会議長会自治功労賞の表彰状伝達式が行われました。

議長 木村 繁 議員

地方自治の振興発展に大きな役割を果たされてきたことに敬意を表します。

自治功労賞受賞



えちぜん議会だより

vol.60

発行 日／令和2年5月1日
編集 集／議会広報特別委員会
発行責任者／議長 青柳良彦

〒916-0019 福井県丹生郡越前町西田中13-5-1
TEL(0778)34-8712 FAX(0778)34-8726
メールアドレス／ekai@town.echizen.lg.jp



**皆さんのご紹介を
お願いします**

私たち「あさりんのほっぺ」は、平成26年度に立ち上げ、現在、10名（30代から60代）の会員で、朝日コミュニティセンターにて活動しています。



**活動内容について
教えてください**

七夕やむかしあそび、実験教室、クリスマス会など、親子で楽しめるイベントを企画、実施しています。

クリスマス会では、町内外から80名以上が参加し、みんなでクリスマス工作やビンゴ大会、おもちゃの交換会を行うなど、子どもたちの出会いと交流を深める機会になっています。

また、子育て中のお母さんなどが気軽に集まれて、友達づくりや悩みなどを話し合えるリフレッシュの場でもあります。



最後に一言お願いします

あさりんのほっぺでは、親子での楽しい思い出ができるよう、イベントを企画、運営しています。

会員の皆さんが無理のないよう楽しく活動していますので、ご興味のある方（男女問わず）は、お気軽に電話ください。

（インタビュアー 高田）



お問い合わせ

朝日コミュニティセンター
☎34-7771

傍聴席へどうぞ 次の議会は 6 月です

（日程については、議会事務局にお問い合わせください） TEL.0778-34-8712

編集後記

「新型コロナウイルス」感染が世界中に広がり、早期終息の見通しがつかない中、日本政府は国民生活や経済に甚大な影響を及ぼさないために、防止策を講じています。

県内でも、感染者が増加し、4月14日に「緊急事態宣言」を発表しました。本町においては、町主催のイベント等の中止や延期、町立小・中学校の休校、一部の福祉施設を除く公共施設の閉館など、感染拡大の防止に取り組んでおります。

町民の皆さんにおかれましては、不要不急の外出を極力控え、手洗いやうがいの徹底、「3密（密閉・密集・密接）」の機会を避けていただき、皆さんの安全と健康を守ることを第一に、引き続き一人ひとりができる感染症予防対策に取り組んでいきましょう。

（伊部）

議会広報特別委員会

委員長	吉村 春男
副委員長	高田 浩樹
委員	北島 忠幸
	木村 繁
	伊部 良美
	齋藤 稔
	南 ゆかり

バックナンバーが町のホームページでご覧いただけます

<http://www.town.echizen.fukui.jp/chousei/04/index.html>

